第15回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST（Environmentally Sustainable Transport：環境的に持続可能な交通）の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第15回 EST普及推進フォーラム ～交通分野における環境負荷低減の重要性～」を開催した。また、「第15回 EST交通環境大賞※」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演にて脱炭素化実現のための公共交通電動化の進め方について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて「地域交通脱炭素化を進めるために、今何が必要か？」について検討した。

当日は、EST・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に60名が参加した。

※地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が2009年度に創設した表彰制度。

日 時：2025年7月18日（金）13:30～16:45
会 場：全電通労働会館ホール（東京都千代田区神田駿河台3丁目6）
主 催：EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援：国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会

←開催風景

広報チラシ→

交通分野における環境負荷低減の重要性
「第 15 回 EST 普及推進フォーラム」開催のご案内

EST（Environmentally Sustainable Transport：環境的に持続可能な交通）の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第 15 回 EST 普及推進フォーラム」を開催します。
また、「第 15 回 EST 交通環境大賞」※の表彰を本フォーラムの中で行います。
受賞講演により優良事例を共有するとともに、基調講演にて交通分野における環境負荷低減の重要性について学び、パネルディスカッションにて「交通分野における環境負荷低減の重要性」について検討します。
EST・交通環境対策の最新情報を入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。
※ 地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が 2009 年度に創設した表彰制度。

日 時 ：2025 年 7 月 18 日（金） 13:30～16:45（13:00 受付開始）
会 場 ：全電通労働会館ホール
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 6
主 催 ：EST 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援 ：国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、
公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会

環境的に持続可能な交通
Environmentally Sustainable Transport

開会挨拶・受賞団体講演

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省、環境省からの開会挨拶のあと、表彰式と受賞団体講演が行われた。

○開会挨拶

岩村　敬　　公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長
笹川　悠　　国土交通省総合政策局環境政策課環境政策企画官
平澤　崇裕　環境省水・大気環境局　モビリティ環境対策課長

○表彰式・受賞団体講演

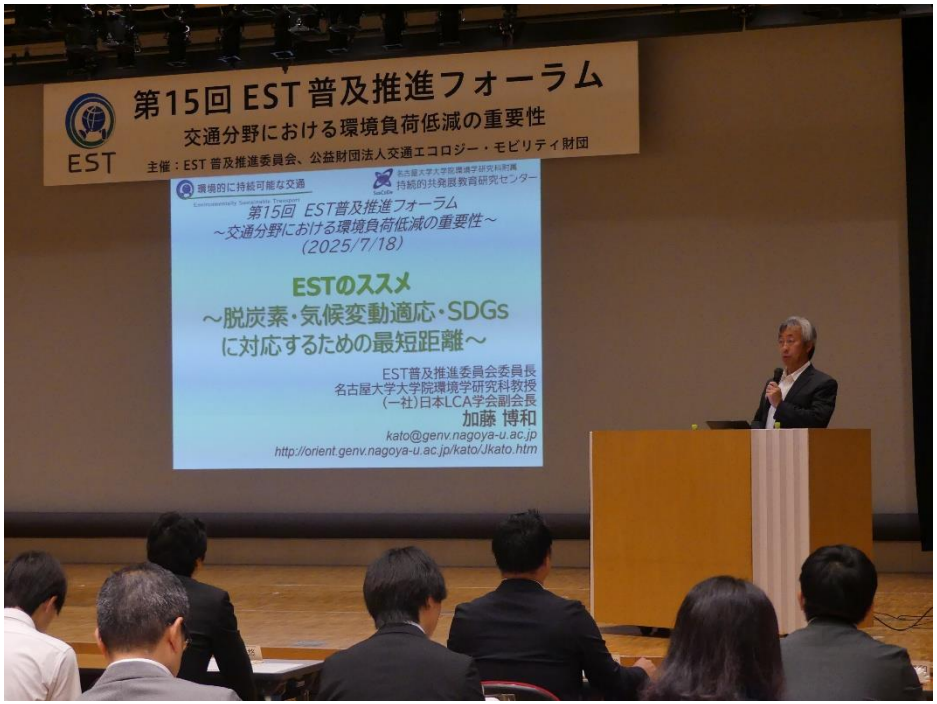
第15回 EST交通環境大賞の表彰式が行われ、EST普及推進委員会 加藤委員長から各賞授与の後に、受賞団体から受賞団体講演が行われた

【奨励賞】

・株式会社IHI、福島県相馬市
「再生可能エネルギーを利用したメタンの製造および有効利用事業」
・岡山県備前市、（旧）ＮＰＯ法人スマイル・つるみ
「ＥＶ を使った住民主体による地域内移動サービスの全市展開」
・九州電力株式会社、鹿児島県知名町、おきえらぶフローラル株式会社
「ＥＶバスの導入・活用による離島の脱炭素化に向けた取り組み」

基調講演・審査講評

受賞団体講演に続き、加藤委員長から「EST のススメ～脱炭素・気候変動適応・SDGs に対応するための最短距離～」と題して基調講演をいただいた後、加藤委員長から審査講評が行われた。



パネルディスカッション「交通分野における環境負荷低減の重要性」

コーディネーター：加藤　博和　　名古屋大学大学院 環境学研究科 教授
パネリスト：高橋　寛郎　　株式会社IHI　技術開発本部技術基盤センター物理・化学技術部　主査
榮　　研二　　備前市　企画財政部長
藤原　友則　　九州電力株式会社　コーポレート戦略部門インキュベーションラボ　プロジェクトサブリーダー
笹川　悠　　国土交通省 総合政策局環境政策課 環境政策企画官
山本　敬介　　環境省 水・大気環境局モビリティ環境対策課 主査

【概要】

第15回EST交通環境大賞では、株式会社IHIや、備前市、九州電力株式会社といった団体が、地域の課題に即した脱炭素型モビリティの導入などの取り組みにより、それぞれ奨励賞を受賞した。

温暖化対策の重要性や2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国の方針が示される中、地域においても、移動手段の電動化や都市構造の見直しを通じた脱炭素化の取り組みが求められている。こうした背景を受け、地域交通分野でも脱炭素化の加速が喫緊の課題となっている。

今回のパネルディスカッションでは、奨励賞受賞の3団体がパネリストとして出演し、「交通分野における環境負荷低減の重要性」について議論を深めた。

前半では、奨励賞3団体による受賞団体講演や、基調講演を踏まえて、奨励賞に対する質疑やコメントを行い、取組みに対する知識を深めた後、後半では、交通と環境の両立を進めるうえでの課題や地域の実情に即した展開可能性について議論した。